

帯広大谷短期大学の教育

学 長 大 森 行 雄

帯広大谷短期大学は、十勝の高等教育機関として1960年に開学した短期大学です。最初に国語科が設置され、2023年には地域共生学科（キャリアデザインコース、食と栄養コース）、社会福祉科（子ども福祉専攻、介護福祉専攻）、看護学科の3学科2専攻2コースとなり現在に至っています。本学の教育の目標は以下の3つに集約されます。

1. 教養と品格を備えた人材の育成

本学では、社会人としての教養と基礎学力を育成し、視野を広めることを目的の一つにしています。個人が社会とかがかわることで得られる経験や知識によって、考え方やものの見方が大きく影響を受けます。その結果として、行動や考え方などにおける品格を有する人間として成長することができます。そのために、教養教育に力を入れています。

2. 職業専門知識を有する人材の養成

本学は社会の要請に応じて、専門的な知識や技能を修得させることを目的にしています。本学は、専門職業教育の充実と強化に力を入れ、社会や企業等のニーズに応じています。人間教育とともに、専門分野や職業に関連する資格取得を積極的に支援しています。

3. 地域社会に貢献する人材の養成

本学では、地域の高等教育機関として、地域社会に貢献できる人材を養成することを目的にしています。これまでと同様、今後も地域社会に貢献しうる人材を養成していく使命を担っています。本学では地域社会と積極的にかわり、地域社会の向上や活性化に寄与するために、教育を通して、課題解決に取り組むことができる人材を育成することに努めています。

現在、本学は地域共生学科、社会福祉科、看護学科の3学科で構成されています。これらの学科の特徴は、2年間または3年間という期間で集中的に専門的な知識や高度な技術を習得し、地域や社会で活躍できる人材を育成するところにあります。

新たな学びは、人を成長させ、将来の自分のあり方をも教えてくれます。また本学で過ごす間に同級生や先輩、教職員や地域の方々との多くの出会いを経験し、悔いのない学生生活を送られ、人間的に大きく成長されることを祈念します。

